

令和5年度 第2回南砺市健康づくり推進協議会 会議録

1. 日 時 令和5年12月15日(金) 午後7時～午後8時30分

2. 場 所 南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室

3. 出席者 出席者：10名

金子 会長、中林 委員、原 委員、竹中 委員、武部 委員、松井 委員、
藤原 委員、山本 委員、定村 委員、加藤 委員

欠席者：5名

山本 副会長、南田 副会長、長瀬 委員（代理出席 桃井班長）、
川口 委員、寺井 委員

傍聴人：0名

事務局：地域包括医療ケア部長 ほか 11名

4. 会議内容

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 協議事項

①各課の健康づくりの取り組み状況について

・各課より実績・課題、取り組みについて説明

資料1

成人期の保健事業（健康課 健康増進係）

南砺市国保、医療費の現状（健康課 国保・年金係）

高齢期の保健事業（地域包括ケア課・健康課）

・質疑応答

委員	南砺市国保、医療費の現状の資料に出てくる「KDB」とは何のことか。
事務局	「KDB」は、「国保データベースシステム」を表し、市の国民健康保険の医療費の負担をレセプトのデータから分析でき、国保連合会で管理しているもの。「特定健康診査や後期高齢者健康診査・保健指導」「医療」「介護」の各種データを活用し、地域の健康課題を分析するもの。

委員	がん検診で見つかるがんの発見者数について、検診の精度管理として把握することも大切になるが、がんで亡くなった方が検診で見つかったものなのかという視点で評価することも大切なのではないか。
会長	「KDB」を利用することで、医療費は抑えることができるものなのか。受診を促すことは、医療費を上げることにならないか。
事務局	「KDB」で医療費の分析をすることによって、市の健康課題が分かる。高い健診受診率を維持することで生活習慣病を早期に発見し、保健師が保健指導（相談・訪問）、重症化予防を行うことにより、長い目で見ると医療費の抑制に繋がっていく。 健康診査等で疾患が見つかり、医療機関への受診勧奨をすることで一時的に医療費は増加するが、早期に治療を開始することで合併症等の重症化を予防でき、医療費の抑制に繋がると考える。
会長	フレイルを予防するために、孤立・孤独にならないようにすることが大切ではないか。評価はされているのか。
事務局	孤立についてはフレイルに大きな影響を及ぼしていると考えており、高齢者を対象とした介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を通して把握に努め、一緒に取り組んでいきたい。

②南砺市民健康プラン[第3次]について

資料2・参考資料1・参考資料2

- ・事務局から、南砺市民健康プラン[第3次]の素案について説明。
- ・質疑応答

委員	(資料26ページ) がんの評価指標について、75歳未満のがん死亡比であるのに対し、がん検診受診率の年齢が75歳未満になっていないのはどういった理由か。
事務局	がん死亡比は、第2次健康プラン時より早世予防の評価指標として経年変化をみている。がん検診の受診率については、国に準じて40歳から69歳までの受診率となっている。

委員	<p>目標値が、指標によって具体的な数値のものと、増減の目標となっている。「増加」と「減少」と設定した目標は、具体的に数値を出すことが難しいということか。</p>
事務局	<p>目標値は、国の指標を参考に行っている。国の目標がまだ設定されていない指標や、国と異なる南砺市独自の指標については、基準値に対して「増加」と「減少」という目標として設定している。</p>
委員	<p>(資料 42～44 ページ)</p> <p>「自然に健康になれる環境づくり／誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備」の評価指標に、「(3) 富山県健康づくり応援店数」が挙げられているが、この事業について県で見直しを考えているため、評価指標を見直さなければならないかもしれない。</p>
会長	<p>富山県健康づくり応援店とは、どのような事業なのか。</p>
委員	<p>飲食店のメニューが何キロカロリーのものなのか、炭水化物や塩分量等表記し、健康づくりに協力いただけるお店を「富山県健康づくり応援店」として登録させていただくもの。現在、名称を「健康寿命日本一応援店」というものに変更している。外食する機会が多くなってきている背景もあり、環境づくりとして飲食店に協力いただいている。管理栄養士がカロリー計算を行っている。</p>
委員	<p>(資料 23 ページ)</p> <p>(3) 取組の方向性に「①市民が取り組む健康づくり」の中に、家庭を追記してはどうか。家庭が健康づくりの基本となり、支えあって取り組むものだと考える。「②地域ぐるみで取り組む健康づくり」に家庭と記載されているが、①の中に変更してはどうか。</p>
事務局	<p>国のヘルスプロモーション活動の概念に基づき設定している。方向性についての内容は、改めて検討させていただきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>(資料 21 ページ)</p> <p>概念図について、今回の第3次の健康プランは、国の健康日本 21 の地方計画にあたる。概念図の内容は、国が示す取り組むべきものになっている。第3次の大きな特徴は、概念図の「領域4: 自然に健康になれる環境づくり」と言われている。人との繋がりや孤立予防といったところが大切ではないかと考える。</p> <p>(資料 42~45 ページ)</p> <p>地域ぐるみで何をするのか、地域に向けて何をしたいか等、取り組みの内容に南砺市らしさがあることが大事だと考える。地域づくり協議会での取り組みが、自然に健康になれる環境づくりの取り組みとして取り上げるなど南砺市らしさがあるものを取り入れてはどうか。</p> <p>市民組織の活動をプランに掲載するのであれば、その取り組みを取り上げてはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>社会環境の取り組みについて、各組織の取り組みからの活動を取り入れさせていただきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域づくり協議会での取り組みは必要だと考える。例えば、地域づくり協議会ごとのウォーキングコースを作成してもらい、地区ごとのふれあいデイなどで取り組むことで、地域ぐるみで健康に取り組むことができる。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料 44 ページ)</p> <p>ウォーキングコースについては、事務局も考えており、領域4の評価指標と目標にも挙げている。健康のための環境づくりとして、働きかけていきたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>社会的孤立がもたらす死亡リスクは、運動不足や肥満、血圧の治療が不十分な状態の影響よりも大きいといわれ、イギリスでは、孤独担当大臣という役職があった。社会的なつながりを持つ人に比べ天寿を全うせずに亡くなる人の割合は1.5倍に上がると言われている。</p> <p>南砺市の強みは、みんなで取り組むことができる場所だと考えるが、委員の方はどう考えるか。</p>

委員	<p>自分は高齢者に該当する年齢だが、地域の中でほっとあつとなんと体操を行ったり、脳トレや運動教室に行ったりと、社会参加をこころがけている。ひとりでは続かないが、仲間の中に入れば1時間はあつという間で続けることができている。人との交流を通して繋がりもでき、社会参加ができていると感じている。</p>
事務局	<p>再度指標として何が適当かを検討したい。</p>
委員	<p>(資料 41 ページ)</p> <p>歯・口腔の健康の指標については、昨今、小中学生からの歯肉炎・歯周病が見られ、その対策をしないと将来の歯の喪失、噛む機能の低下につながり、全身の健康状態に影響するという視点で妥当だと思う。市民が取り組む健康づくりに、「舌・口唇等の筋力の向上・維持に努める」ことも追加が必要だと考える。</p>
事務局	<p>取り組みに追加していきたい。</p>
委員	<p>(資料 26～27 ページ)</p> <p>がんの取り組みに、ウイルス・細菌と記載されているため、評価指標と目標に、がん検診受診率だけではなく、ピロリ菌や HPV、肝炎ウイルス検診などの指標を取り入れみてはどうか。</p> <p>(資料 32 ページ)</p> <p>栄養と食生活の評価指標と目標について、南砺市が独自に行っている学生健康診査など、先駆的なものを取り入れたらよいのではないかと。</p> <p>南砺市は、管内3市の中でも独自の保健事業を展開している。健康づくりのまちづくりという視点で、学生健康診査や胃疾患リスク検診など、市の特徴的な様々な取り組みもプランに取り入れたらよいのではないかと。</p>
事務局	<p>取り組みについて、改めて検討し、次回、ご意見を伺いたい。</p>

5. その他

- ・今後のスケジュールについて 資料 3
- ・健康づくり事業活動の原稿作成・スローガンの作成依頼について

6. 閉 会